

国立特別支援教育総合研究所 現職教員長期派遣研修 「特別支援教育研究研修員」(第3回)の公募について

ねらい

・国の政策を実施する各地方公共団体の指導者養成に重点化を図る

・特総研の行う専門的な研究の最新の成果を取り入れる

・国の政策課題や喫緊の課題に対応した各県等では実施困難な研修等に重点化を図る

・地方の教育改革に資する人材の育成に資する

(地方公共団体のメリット)

・国の政策的な課題や教育現場の喫緊の課題に関する研究に参加することを通じて、各地方公共団体の課題の解決や教育の充実
・各地方公共団体の政策課題実現のためのリーダー養成

研修内容

政策課題の実現の中核となる教職員を対象に、「重点推進研究」等に直接参画し、国の政策的な課題や教育現場の喫緊の課題に取り組むことを通じて、各県等の教育政策や教育研究の推進に寄与する専門性の向上を図る

〈研究研修員 1年間の活動〉
特総研の研究への参画
(研究分担者として研究を推進)
特総研の研究と関連する内容で、研究研修員の有する課題(教育委員会等が抱える課題、自身の課題等)についての研究

(特総研のメリット)

・研究と研修の一体化による指導の充実、効率化
・研究に資する教育現場・地域の諸情報・知見の取得
・研修修了後も、引き続き研究協力者として貢献 等

研究研修の特色等

1. 全障害領域等の第一線で活躍している研究職員に直接、指導が得られること
2. 全国的な動向及び最新の教育情報が得られること
(実地調査等の交通費を、必要に応じ、特総研が負担)
3. 研究参画及び自身の専門性向上のため、他研修の必要な講義等の聴講が可能であること
4. 各地から派遣の研修員同士のネットワークが図られること

〈良好な研修環境〉

宿泊施設を完備
研究研修員室(デスク等)を完備
特総研の職員と同様に、情報ネットワークの活用
所蔵図書資料等の活用